阿見町長
千葉 繁 殿

地域社会に貢献するシルバー人材センターの決意と支援の要望

人口減少、少子高齢化が進展し、高齢者のより一層の活躍が期待される中、シルバー人材センターは、地域の日常生活に密着した就業機会を提供することなどにより、高齢者の社会参加を促進し、生きがいの充実、健康の保持増進、地域社会の活性化、孤独・孤立の防止などに貢献しています。特に、直近の調査研究では、後期高齢期におけるセンターでの就業が、フレイルの抑制に一定の効果を与えることが学術的にも示されたところです。

「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」において、企業における七十歳までの就業機会の確保が努力義務化されるなど、希望すればいつまでも働き続けられる環境整備が進むこと等で会員が高齢化しているとともに、様々な制度改正等、センターを取り巻く環境の変化により事業環境は厳しい状況にあります。そうした中でもセンターでは、人手不足分野等での就業先の開拓や会員の多様な就業ニーズに対応した新たな職域への進出、体力等が低下した会員でも無理なく行える仕事の確保などに果敢に取り組んでいます。

このため、私たちは、センターの持続的な発展の要となる会員の拡大に向け、令和七年度から「新たな仲間づくり計画」に基づき、女性会員の拡大や新規入会促進、会員の高齢化が進展する中、八十歳を超えても活躍できる環境整備等について、より強力に推進しているところです。

また、「自主・自立、共働・共助」という理念のもと、会員の安全就業を最優先に、国が定めた適正就業ガイドラインを順守しつつ、

①介護予防・日常生活支援総合事業、介護施設の介護の周辺業務の切り出し等による要支援高齢者に対する支援事業

②子育て中の現役世代や子供たちへの支援、空き家管理・墓地清掃、遊休農地・休耕田を活用した農場運営など、地域への貢献度が高く、課題解決に資する事業

③デジタル関連やホワイトカラー系職種の事業

④人手不足や働き方改革に取り組む地元企業に向けたシルバー派遣等の事業

等を重点に取り組むとともに、シルバー人材センター業務の効率化に資するデジタル化等により経営基盤の強化も図りながら、地域社会の発展と就業意欲のある高齢者の活躍の場としての役割を果たしてまいる決意です。

つきましては、令和九年度のシルバー人材センター事業の推進のため、センターに対する、より一層のご理解・ご支援を要望いたします。

特に、阿見町におかれましては、厳しい財政事情の中ですが、国の補助金と同額以上の補助金の確保、センターへの事業発注、新たな契約方法への対応など、センターの安定的な運営が可能となる各支援について強く要望いたします。

令和八年十月一日

公益社団法人茨城県シルバー人材センター連合会
会長　塚本　將男

公益社団法人阿見町シルバー人材センター
副理事長　松本　康雄

阿見町議会議長

久保谷 実 殿

地域社会に貢献するシルバー人材センターの決意と支援の要望

人口減少、少子高齢化が進展し、高齢者のより一層の活躍が期待される中、シルバー人材センターは、地域の日常生活に密着した就業機会を提供することなどにより、高齢者の社会参加を促進し、生きがいの充実、健康の保持増進、地域社会の活性化、孤独・孤立の防止などに貢献しています。特に、直近の調査研究では、後期高齢期におけるセンターでの就業が、フレイルの抑制に一定の効果を与えることが学術的にも示されたところです。

「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」において、企業における七十歳までの就業機会の確保が努力義務化されるなど、希望すればいつまでも働き続けられる環境整備が進むこと等で会員が高齢化しているとともに、様々な制度改正等、センターを取り巻く環境の変化により事業環境は厳しい状況にあります。そうした中でもセンターでは、人手不足分野等での就業先の開拓や会員の多様な就業ニーズに対応した新たな職域への進出、体力等が低下した会員でも無理なく行える仕事の確保などに果敢に取り組んでいます。

このため、私たちは、センターの持続的な発展の要となる会員の拡大に向け、令和七年度から「新たな仲間づくり計画」に基づき、女性会員の拡大や新規入会促進、会員の高齢化が進展する中、八十歳を超えても活躍できる環境整備等について、より強力に推進しているところです。

また、「自主・自立、共働・共助」という理念のもと、会員の安全就業を最優先に、国が定めた適正就業ガイドラインを順守しつつ、

①介護予防・日常生活支援総合事業、介護施設の介護の周辺業務の切り出し等による要支援高齢者に対する支援事業

②子育て中の現役世代や子供たちへの支援、空き家管理・墓地清掃、遊休農地・休耕田を活用した農場運営など、地域への貢献度が高く、課題解決に資する事業

③デジタル関連やホワイトカラー系職種の事業

④人手不足や働き方改革に取り組む地元企業に向けたシルバー派遣等の事業

等を重点に取り組むとともに、シルバー人材センター業務の効率化に資するデジタル化等により経営基盤の強化も図りながら、地域社会の発展と就業意欲のある高齢者の活躍の場としての役割を果たしてまいる決意です。

つきましては、令和九年度のシルバー人材センター事業の推進のため、センターに対する、より一層のご理解・ご支援を要望いたします。

特に、阿見町におかれましては、厳しい財政事情の中ですが、国の補助金と同額以上の補助金の確保、センターへの事業発注、新たな契約方法への対応など、センターの安定的な運営が可能となる各支援について強く要望いたします。

令和八年十月一日

公益社団法人茨城県シルバー人材センター連合会
会長　塚本　將男

公益社団法人阿見町シルバー人材センター
理事長　千葉　繁